



水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました

流水調整課

H30.06.12

紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、**和歌山市立砂山小学校4年生**の皆さんが見学に来られ、当事務所から流水調整課長他2名が対応しました。心配された雨は降りませんでした。雨が近いのを予感させる蒸し暑い午後、河川敷で元気に遊んだ皆さんが汗をいっぱいかきながら来館されました。

紀の川大堰の概要説明では、積極的に手を挙げて勉強に参加する姿が数多く見られ、充実した時間を過ごすことができました。

また、館内外の案内時にもたくさんの疑問・質問を頂きました。

先生方からは「アユの遡上が見れなくて残念です。最盛期のときにぜひ見せていただきたいなあと思います」との感想を頂きました。

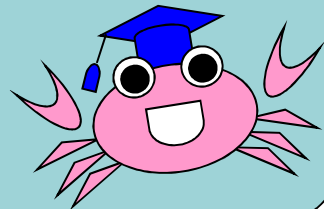
団体見学概要

日時：平成30年6月11日(月) 13:15～14:15

会場：水ときらめき紀の川館

参加人数：61名(生徒56名、先生5名)

団体名：和歌山市立砂山小学校4年生



1. 紀の川大堰概要説明

まずは、職員の説明で、スライドを用いて紀の川と紀の川大堰の仕組みや役割をクイズ形式で学びました。

集中して、話を聞いている様子。



2. 館外の魚道見学



みんなで人工河川式魚道をのぞき込んでいる様子。

隣り合わせの階段式魚道とデニバチ魚道。流れが速いのはどちらだったかな？



一番流れが速いのは、デニバチ魚道だよ！



カニさん、こんにちは



魚道観察室の入口にあるカニさんのおうち。目をこらしてみても！石と同じ色なので上手に隠れていました。

魚道観察室では、思い思いに川の流れを観察。



3. 館内の見学



2階の操作室をガラス越しに見学。壁面の大きな6台のモニターには、管理所周辺の監視カメラの映像が切り替わりながら映し出されます。



展望デッキでは、紀の川と紀の川大堰が一望できます。目の前が広がり、気分爽快！



最後に、皆さんにお土産の冊子を配りました。これを読んで、紀の川のことや紀の川大堰のこと、そして和歌山のことをたくさん知って下さいね。



質問

Q.階段式魚道ってどれくらいの深さがあるの？

A.魚道観察室から見られる部分は約90cm～190cmです。階段式魚道は、上流に行くほど深く(階段が高く)なるよう造られています。

Q.「量水塔」へはどうやっていくの？

A.川の中なのでボートに乗っていきます。それは機械の点検のときだけで、ふだん量水塔に人はいません。